

能代市総合計画市民協働会議

第8回運営グループ会議

日 時 平成21年11月10日（火）
午後8時55分
場 所 能代山本広域交流センター
第1研修室
出席者 安部副委員長
越中委員、田村(重)委員、中村委員
宮腰委員、見上委員
浜松委員、小笠原委員
中橋アドバイザー、安食アドバイザー

概 要

1 取組の改善策の検討状況について

各班における取組の改善策の検討状況について、情報交換を行いました。

D班では、まとめきれなかった提案があるため、リーダーが調整して、次回会議で別紙の資料として配付することを確認しました。

また、各班で取りまとめた提案内容については、事務局で全体を調整して、次回会議で資料として配付することを確認しました。

2 今後の進め方について

事務局から、今後の進め方について説明がありました。

次回の第10回では、評価書と提案書、提案前文の最終案の調整を行い、第11回では、これらを決定して、市長へ提出することを確認しました。

3 提案前文の検討について

提案前文に盛り込む内容についての協議を行い、次のとおり確認しました。

○前回の運営グループ会議で意見集約された「横の連携」と「そのための人材の育成」を、箇条書きの部分に重要な視点として盛り込む。

○計画策定時の提言前文の中で重要な視点とした「若者の定住に結びつく産業創出や雇用確保の取組が極めて重要」「市民すべてがまちづくりの担い手として参画することが必要」「身近な地域の課題を共有して生活の向上をめざすことが大切」について、これらが進んでいるのかどうか、再確認する内容を盛り込む。

○中でも、若者の雇用に関しては、地域社会の存続にかかわる最も優先すべき課題であり、強い表現で盛り込む。

提案前文については、正副委員長と事務局で調整の上、次回会議に素案を示すことにしました。

4 その他

能代市総合計画

まちづくり提案書

(素案)

能代市総合計画
市民協働会議

1 取組の改善策

政策1(1)コミュニティで支え合う特色ある地域づくり		
提案1 自治会・町内会活動の活発化		
提案に至った現状と評価	担い手・役割（資金・資源）	新たな取組・より良い取組
・自治会・町内会などに参加を心にかけている市民の割合の伸びが鈍い。 ・自分の住んでいる地域から発想することが大事である。 (……ので、)	・自治会・町内会 (……が、)	○自治会・町内会が、年間計画を立てて活動を行う。 ○自治会・町内会が、リーダーづくりのために、活動が活発な自治会・町内会との交流を図る。 ○自治会・町内会が、自治会館や集会所などの拠点をつくる。 (……ことを提案する。)

政策1(3)地域で育み社会で支える子育て・子ども支援 1(4)次代を担う子どもの成長を支える学校教育		
提案2 行事等を通じた地域と学校の交流		
提案に至った現状と評価	担い手・役割（資金・資源）	新たな取組・より良い取組
・子育て・子ども支援と学校教育の政策分野はともに順調であり、引き続き地域と学校の連携が必要である。 (……ので、)	・地域住民 ・PTA ・地域の学校 (……が、)	○地域住民、PTA及び地域の学校が、子どもとの交流活動を計画的に実施し、行事等を通じて交流を深める。 (……ことを提案する。)

政策1(5)子どもも大人も心と体の健康づくり		
提案3 がんや自殺が多い原因の調査研究		
提案に至った現状と評価	担い手・役割（資金・資源）	新たな取組・より良い取組
・がん死亡率の推移が不調である。 ・自殺死亡率は減少しているが、依然として全国レベルより高い。 (……ので、)	・医療機関、医師会及び大学等研究機関（連携） (……が、)	○医療機関、医師会及び大学等の研究機関が、連携して、なぜこの地域でがんや自殺が多いのか、調査研究して原因を明らかにし、それに基づいた対策を講じる。 (……ことを提案する。)

政策1(5)子どもも大人も心と体の健康づくり		
提案4 日常的な健康づくり意識の向上		
提案に至った現状と評価	担い手・役割（資金・資源）	新たな取組・より良い取組
・健康づくりの政策分野が全般的に不調である。 (……ので、)	・健康づくりサークル ・自治会・町内会 ・健康推進員 ・老人クラブ ・社会福祉協議会 等 (……が、)	○健康づくりサークル、自治会・町内会、健康推進員、老人クラブ及び社会福祉協議会等が、健康診断受診率の向上、健康づくり活動の活発化、市民の孤立化の防止など、日常的な健康づくり意識の一層の向上を図る。 (……ことを提案する。)

政策1(6) 地域で活躍する元気な高齢者	提案5 高齢者の農作業や居場所づくりの推進	
提案に至った現状と評価	担い手・役割（資金・資源）	新たな取組・より良い取組
・高齢者の政策分野は順調だが、閉じこもりがちな独居老人が多いことが課題となっている。	・自治会・町内会 ・民生児童委員 ・老人クラブ ・社会福祉協議会 ・行政（市）等	○自治会・町内会、民生児童委員、老人クラブ、社会福祉協議会及び行政（市）等が、青空デイサービス（休耕地や空き地での農作業）の拡大、いきいきサロン（居場所づくり）の活発化などを通じて、高齢者の生きがいづくりを更に推進する。
(……ので、)	(……が、)	(……ことを提案する。)

政策1(6) 地域で活躍する元気な高齢者	提案6 高齢者へのご用聞き等の推進	
提案に至った現状と評価	担い手・役割（資金・資源）	新たな取組・より良い取組
・高齢者の政策分野は順調だが、閉じこもりがちな独居老人が多いことが課題となっている。	・民間の事業者等	○民間の事業者等が、ご用聞き、買い物サービス、宅配サービス等を推進し、高齢者との交流を通じて孤立化を防ぐ。
(……ので、)	(……が、)	(……ことを提案する。)

政策1(7) 地域で社会で自立する障害者	提案7 障害者団体の組織強化と組織間連携	
提案に至った現状と評価	担い手・役割（資金・資源）	新たな取組・より良い取組
・障害者団体の活動が低迷している。	・障害者自身 ・障害者支援団体 ・行政（市）	○障害者自身及び障害者支援団体が、障害者団体の組織の強化と組織間の相互連携の充実を図る。 ○行政（市）が、そのバックアップを行う。
(……ので、)	(……が、)	(……ことを提案する。)

政策1(7) 地域で社会で自立する障害者	提案8 障害者の就労機会の拡大	
提案に至った現状と評価	担い手・役割（資金・資源）	新たな取組・より良い取組
・経済状況の影響で、障害者の雇用率が上昇していない。	・障害者自身 ・障害者支援団体 ・行政（市） ・ボランティア	○障害者自身、障害者支援団体、行政（市）及びボランティアが、障害者の職業能力の向上、授産施設の充実、青空デイサービスへの参画などを通じて、就労機会の拡大を図る。
(……ので、)	(……が、)	(……ことを提案する。)

政策1(8)ふるさとの誇りを受け継ぐ文化・芸術	提案9 学校と連携した民俗芸能活動の活発化	
提案に至った現状と評価	担い手・役割（資金・資源）	新たな取組・より良い取組
・地区の祭りや民俗芸能などに参加を心がけている市民の割合の伸びが鈍い。 ・民俗芸能の活動が広く浸透していない。 ・民俗芸能の指導者・伝承者が不足している。 ・クラブ活動に民俗芸能を取り入れている学校もある。 (……ので、)	・教育委員会（学校教育と生涯学習の連携） ・学校 ・民俗芸能連合会 ・地域住民 ・PTA ・行政（市） (……が、)	○教育委員会及び学校が、学校教育と生涯学習の連携で、学校カリキュラムの中の、地域活動やボランティア、体験学習の時間を使い、民俗芸能の学習の場や、地域と学校が交流できる民俗芸能の発表の場を設ける。 ○民俗芸能連合会、地域住民及びPTAが、民俗芸能の講師として協力する。 ○行政（市）が、民俗芸能や民俗行事の現状をしっかりと把握した上で、活動費を助成する。 (……ことを提案する。)

政策1(9)だれもが気軽に楽しめるスポーツ	提案10 バスケットの街としての底辺の拡大	
提案に至った現状と評価	担い手・役割（資金・資源）	新たな取組・より良い取組
・バスケットの街を誇りに思う市民の割合が大きく落ち込んでいる。 (……ので、)	・行政（市） ・体育協会 ・バスケットボール協会 ・教育委員会 ・学校 (……が、)	○行政（市）が、「バスケットの街づくり」の事業を見直して、具体的な方針と目標を明らかにし、市民へ浸透させて意識の高揚を促す。 ○行政（市）、体育協会及びバスケットボール協会が、指導者養成に力を入れ、養成された指導者が指導できる場を設ける。 ○行政（市）、体育協会及びバスケットボール協会が、スポーツ少年団との関係を強化し連携を図る。 ○教育委員会及び学校が、学校のカリキュラムにバスケットボールを積極的に取り入れて、競技人口の底辺の拡大に努める。 (……ことを提案する。)

政策1(10)認め合い支え合う社会づくり	提案11 外国人の子どもの学習の場の確保	
提案に至った現状と評価	担い手・役割（資金・資源）	新たな取組・より良い取組
・個性や能力を発揮できる地域と思う市民の割合が伸びていない。 (……ので、)	・日本語指導者 ・ボランティア ・教育委員会 ・行政（市） (……が、)	○日本語指導者及びボランティアが、外国人の子どもたちの学校の教科と、日本語を結びつけた学習の場を設ける。 ○教育委員会が、学校との連携を強化し、子どものときから、多くの外国人がともに暮らしているという意識を浸透させる。 ○行政（市）が、日本語指導者を養成する環境をつくる。 (……ことを提案する。)

政策1(10)認め合い支え合う社会づくり	提案12 男女共同参画意識の啓発	
提案に至った現状と評価	担い手・役割（資金・資源）	新たな取組・より良い取組
・個性や能力を発揮できる地域と思う市民の割合が伸びていない。 ・男女共同参画の意識が広く浸透していない。 (……ので、)	・行政（市） ・市民 ・学校 ・企業等 (……が、)	○行政（市）及び市民が、男女共同参画推進都市として宣言する。 ○学校が、男女共同参画の副読本を使った学習を行う。 ○企業等が、職場で男女共同参画のキャンペーンを行う。 ○市民が、家庭で差別のない暮らしを普及させる。 ○行政（市）、市民、学校及び企業等が、これらを継続する。 (……ことを提案する。)

政策2(1) 環境を核とした活力ある産業創出 2(2) 雇用を生み出す企業立地 2(3) 力強く持続する農業		
提案13 しらかみ微生物や米粉などを利用した商品開発		
提案に至った現状と評価	担い手・役割（資金・資源）	新たな取組・より良い取組
・若い人の働く場がなく、人口減少につながっている。 ・企業誘致は難しい状況にある。 ・地元の企業も衰退している。	・農家 ・農協 ・新たな取組をする団体 ・行政（市）（補助金） ・一般企業 ・アンテナショップ	○農家、農協及び新たな取組をする団体が、しらかみ微生物や米粉など、地元の素材を利用した今ある商品を育てる。 ○行政（市）が、それを補助金で支援する。 ○一般企業及びアンテナショップが、地元の農産物の加工食品の開発と起業を行う。
(……ので、)	(……が、)	(……ことを提案する。)

政策2(1) 環境を核とした活力ある産業創出		
提案14 新たな雇用を生み出す環境産業の事業化		
提案に至った現状と評価	担い手・役割（資金・資源）	新たな取組・より良い取組
・能代港の利用が落ち込んでいる。 ・環境関連の企業が稼働・新設されている。 ・市民のリサイクル活動が浸透してきている。	・市民 ・企業 ・大学 ・木高研 ・行政（市・県・国）（連携）	○企業、大学、木高研及び行政（市・県・国）が、連携して、環境産業に関する気運を盛り上げ、能代港の積極的な活用を図る。 ○市民、企業及び行政（市・県・国）が、連携して、市民や各種団体が行っているリサイクル活動などを活用して、新たな雇用を生み出す環境産業の事業化に取り組む。
(……ので、)	(……が、)	(……ことを提案する。)

政策2(3) 力強く持続する農業		
提案15 新たな雇用を生み出す農業の法人化		
提案に至った現状と評価	担い手・役割（資金・資源）	新たな取組・より良い取組
・農家の高齢化が進み、担い手が不足している。 ・食への関心が高い。	・農家	○農家が、農業の法人化など、みんなが協力して行える、新たな雇用を生み出す農業に取り組む。 ○農家が、地産地消をさらに進め、白神ブランドを利用して、農業収入の安定化を図る。
(……ので、)	(……が、)	(……ことを提案する。)

政策2(4) 山・川を生かす林業・木材産業・水産業		
提案16 現地加工・集材システムの構築と木材の有効活用		
提案に至った現状と評価	担い手・役割（資金・資源）	新たな取組・より良い取組
・林業・木材産業の政策分野が全般的に不調である。 ・間伐材が有効利用されていない。 ・山の手入れがされていない。	・森林組合・木高研等の団体 ・工務店・設計事務所 ・行政（市・県・国）（連携が重要）	○森林組合・木高研等の団体、工務店・設計事務所、行政（市・県・国）が、連携して、現地加工システムと集材システムをつくり、木材をバイオマス・バイオトイレ・住宅の内装材へ有効利用して、森林の保全と育林につなげる。 ○森林組合・木高研等の団体、工務店・設計事務所、行政（市・県・国）が、連携して、秋田スギに付加価値を付ける。 ○森林組合・木高研等の団体、工務店・設計事務所、行政（市・県・国）が、連携して、スギの良さをPRする。
(……ので、)	(……が、)	(……ことを提案する。)

政策3(1)安全な暮らしを守る防災・防犯体制	提案20 災害に備える市民意識の啓発	
提案に至った現状と評価 ・ 防災訓練への参加など、災害に備える市民の関心は高まっているが、地域などによって温度差がある。	担い手・役割（資金・資源） ・ 自治会・町内会 ・ 各種団体 ・ 市民 ・ 行政（市） ・ 事業所	新たな取組・より良い取組 ○自治会・町内会が、地域ごとの小規模の防災訓練、普段からの声かけ運動、防災を話し合う集会を行う。 ○自治会・町内会、各種団体、市民、行政（市）及び事業所が、住んでいる所の危険箇所を点検する。
（……ので、）	（……が、）	（……ことを提案する。）

政策3(2) 機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク	提案21 利用者ニーズに合った交通手段の確保	
提案に至った現状と評価	担い手・役割（資金・資源）	新たな取組・より良い取組
・公共バスの利用者が少ない。 (……ので、)	・バス会社・タクシー会社 ・市民 ・病院 ・大型店 ・商店会 ・行政（市） (……が、)	○バス会社・タクシー会社、市民、病院、大型店及び商店会が、乗合タクシー（デマンドバス）を研究する。 ○行政（市）が、バス利用者の行き先、目的、ルートなどを確認するため、アンケート調査を実施する。 ○大型店、商店会及び病院が、ショッピングや通院等の目的に応じたルートを、バス会社・タクシー会社に委託して開発する。 (……ことを提案する。)

政策3(2) 機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク	提案22 地域住民による除排雪の協力体制づくり	
提案に至った現状と評価	担い手・役割（資金・資源）	新たな取組・より良い取組
・除排雪などで協力し合う体制があると思う市民の割合は伸びているが、独居老人宅の除排雪が課題となっている。 (……ので、)	・自治会・町内会 ・ボランティアグループ ・社会福祉協議会 ・学生 ・PTA ・民間業者 ・行政（市） (……が、)	○自治会・町内会、ボランティアグループ、社会福祉協議会、学生及びPTAが、中高生のボランティアを活用して除排雪を行う。 ○行政（市）が、除排雪ボランティアに若干の手当を払う。 ○自治会・町内会、民間業者及び行政（市）が、排雪場所の確保と清掃を行う。 ○自治会・町内会及び行政（市）が、排雪に利用できる空き地の所有者を登録する。 (……ことを提案する。)

政策3(5) 安心でき健康を保てる医療体制	提案23 医療を守る市民運動の展開	
提案に至った現状と評価	担い手・役割（資金・資源）	新たな取組・より良い取組
・コンビニ受診が多い。 ・勤務医が不足している。 ・救急医療体制が疲弊している。 (……ので、)	・患者 ・市民 ・行政（市） (……が、)	○患者及び市民が、医師を含む、医療を守る市民運動を展開し、市民の意識改革運動をする。 ○行政（市）が、その啓発を行う。 (……ことを提案する。)

政策3(5) 安心でき健康を保てる医療体制	提案24 病院と診療所の連携促進	
提案に至った現状と評価	担い手・役割（資金・資源）	新たな取組・より良い取組
・コンビニ受診が多い。 ・勤務医が不足している。 ・救急医療体制が疲弊している。 ・看護師、薬剤師が不足している。 (……ので、)	・病院 ・診療所 ・行政（市） (……が、)	○病院及び診療所が、勤務医不足を補うための連携を促進する。 ○行政（市）が、その啓発を行う。 (……ことを提案する。)

政策3(5) 安心でき健康を保てる医療体制	提案25 お薬手帳の利用促進	
提案に至った現状と評価	担い手・役割（資金・資源）	新たな取組・より良い取組
・薬の重複による薬害防止が課題となっている。 ・緊急時、医師に薬の服用を的確に伝える必要がある。 (……ので、)	・病院 ・診療所 ・薬局 ・患者 ・行政（市） (……が、)	○病院、診療所、薬局及び患者が、お薬手帳の利用を促進する。 ○行政（市）が、その啓発を行う。 (……ことを提案する。)

政策3(6) 不安のない生活を支える社会保障制度	提案26 よろず相談窓口の設置	
提案に至った現状と評価	担い手・役割（資金・資源）	新たな取組・より良い取組
・介護・医療に関する情報が多様化、複雑化している。 ・介護保険事業の適切な運営を図る必要がある。 (……ので、)	・行政（市） (……が、)	○行政（市）が、介護・医療・福祉などに関する「よろず相談窓口」を設置する。 (……ことを提案する。)

政策3(7) 効率的で住民サービスに資する行財政基盤	提案27 市民参画による行財政改革の推進と情報提供	
提案に至った現状と評価	担い手・役割（資金・資源）	新たな取組・より良い取組
・景気の後退により、厳しい財政状況が続くと想定される。 (……ので、)	・行政（市） ・市民 (……が、)	○行政（市）が、市民の参画を得ながら、行財政改革の推進と情報提供を行う。 (……ことを提案する。)

政策共通	提案28 イベント全般の日程調整の工夫	
提案に至った現状と評価	担い手・役割（資金・資源）	新たな取組・より良い取組
・大きなイベントと学校行事が重なることがあるなど、地域の活性化の機会を活かしきれていない。 (……ので、)	・行政（市） ・学校 等 (……が、)	○行政（市）及び学校等が、イベント全般の日程調整の仕方を工夫し、情報共有を図る。 (……ことを提案する。)

2 その他

政策3(5) 安心でき健康を保てる医療体制	提案29 指標No.77を「お薬手帳を持っている市民の割合」に変更
提案に至った理由	提案の内容
・ かかりつけ薬局の定義が明確でない。 ・ かかりつけ薬局による薬の服用管理には限界がある。 (……ので、)	○市民意識調査の指標項目「身近なかかりつけ薬局を持っている市民の割合」を「お薬手帳を持っている市民の割合」に変更する。 (……ことを提案する。)

能代市総合計画市民協働会議提案（素案）

市と市民の協働により策定した能代市総合計画が平成20年度からスタートし1年が経過しました。

能代市総合計画市民協働会議では、計画の実行段階において市と市民の協働でより良いまちづくりをめざすため、総合計画に掲げた目標指標を用いてこれまでのまちづくりの進捗状況を市民の目で点検評価し、提案することを目的に、ロジックモデルを用いたワークショップの手法により、検討作業を行いました。

まちづくりの活動実態の点検においては、行政だけでなく、市民や各種団体、事業者など、様々な主体がそれぞれに役割を担っていることが明らかになりました。

また、まちづくりの評価においては、多くの政策分野がめざす姿に向けて順調または現状維持で推移している一方、厳しい社会経済情勢を反映して、主に雇用創出や産業振興に関する政策分野においては思うように進んでいないという現状が明らかになりました。

こうした状況を踏まえて、計画推進のために重点的に取り組むべきもの、手法等を見直して取り組むべきものなどの検討を行いました。

これらの検討過程の中で、今後の取組の重要な視点として以下の指摘がなされました。

1. 総合計画策定時の「少子高齢化と人口減少、厳しい財政事情等の現状の中で希望あるまちづくりを進めるためには、市民の生活基盤の確立、ことに若者の定住に結びつく産業の創出や雇用の確保などの総合的な取組が極めて重要な課題である」との指摘は、地域社会の存続にかかわる重要かつ緊急の課題であり、他の分野に優先して重点的に取り組むべきである。
2. 市民すべてがまちづくりの担い手として参画するとともに、今いる人材や今ある資源を活用して効果を上げるためには、市民や団体間の連携と結束が必要であり、それを促進できる人材を育成することが重要である。
3. 地域の課題に対応するためには、地域の人々が地域に根ざした取組を行うことが大切である。

以上を踏まえて、能代市総合計画に掲げた将来像の実現に向けて、まちづくり評価書及び提案書を次のように取りまとめましたので、提案いたします。

平成21年11月25日

能代市長 齊 藤 滋 宣 様

能代市総合計画市民協働会議
委員長 柴 田 寛 彦